

『偕行』 本誌 投稿のお勧め

編集委員長

井上前編集委員長の後任として編集委員長に就いて約10カ月が経過し、時と共にその任の重さを痛感しています。前編集委員長の方針を踏襲し、安全保障等の調査研究、慰霊顕彰及び陸上自衛隊支援を軸にしつつ、「お茶の時間」といった欄をも引き続き継続し、誌面の充実に努力しているところであります。

「偕行社会員規定」の「会員の権利及び義務」を見ますと、「定期刊行誌『偕行』に投稿すること」とあります。

これは各種の記事を書いて『偕行』に投稿し、防衛基盤の強化拡充に資することを定めたと考えられます。投稿掲載・発表は会員の権利です。

また会員の高齢化も確実に進んでいます。読者層の変化への対応も重要と考えます。更に入会促進の意味からも現職幹部の読者にも、より興味をもって読んでいただける記事を載せていきたいと思えます。会員約6000名と約500名の陸自部隊長、駐屯地司令等及び約30カ所の公立図書館に届けられる『偕行』に、皆さまの書かれた記事が掲載されることは大いに意義のあることではないでしょうか。会員皆様

の投稿をお待ちしています

現在、偕行社の財務状況は大変厳しいところですが、しかし『偕行』の毎月発行は何としても継続したいと思えます。会員各位におかれましては、そうした点もお含みいただき、一層のご支援・ご投稿を頂きますようお願い申し上げます。

●従前会員の皆様

いよいよ平成も4月で終わります。昭和をご存知の貴重な存在であられる皆様には、是非「あの時代」に生きた証をしたため、英霊や同期生にお届けください。また皆様の視点で昭和の平和を振り返り、若い世代に将来を読み解いてください。

●元自会員の皆様

日本を取り巻く戦略環境も大きく動いています。大綱・中期も新たに、陸自の改編も進んでいます。

現在の陸自の活動や編成に関する最新の状況などの記事を、新たに会員になられた若い世代に期待いたします。また現職幹部読者に向けて、皆様の経験談、指揮統率や部隊管理に関すること、戦術談義、精神教育、基本的な戦史などについて、書いていただけないでしょうか。

元自会員はこれからの偕行社の核になる世代です。政策提言的な意味も込め、大いに発信啓蒙をしてください。

●各地偕行会の皆様

各地における日本陸軍の記録や慰霊行事、偕行会の活動などをお知らせください。また豊かな地方の香りのする伝統行事・文化を是非紹介して頂ければと考えています。

●文芸欄の将来について

川柳、俳句、漢詩の選者は、いずれもご高齢で奉仕活動を続けておられませんが、また短歌はすでに編集委員会がまとめています。伝統ある文芸教室を継続するため、元自会員による運営を考える時期です。自薦・他薦でのご提案をお待ちします。

●表紙写真について

「美しい日本、力強い日本、伝統の継承」をテーマに写真を募集します。

本誌投稿のご案内

●記事目的と採否

防衛基盤の強化拡充に資するため、慰霊顕彰、遺族援護、安全保障・近現代史・教育に関する調査研究成果及び自衛隊に関する協力等の記事を掲載します。

記事は原則として会員から投稿を募り、編集委員会が審議します。

●内容と様式

多くの会員に掲載の機会を提供するため、次の目安を設けています。

論文、読み物は、オリジナルで読みやすい内容 6千〜8千文字。

主張、随筆、所見は2千〜4千文字。図書紹介は1千文字程度。

短歌・俳句・川柳・漢詩は各教室の規定による。

記述様式は、縦書きで1行17文字

1段31行

●修文・削除等

誌面有効活用から一部の削除、小見出し付け、不適切な叙述の削除等は編集委員会が処置します。

品位を欠く記述、史実に反する内容、叙述が理解しにくい記事は、掲載をお断りします。

●原稿の送付

原稿・写真はお返ししません。努めてメールで原稿データを願います。

●宛先

論文・随筆等 編集委員会のアドレス、
Kaiko-henshu@quartz.ocn.ne.jp

花だより 各期の担当者、つどい 編集委員会。

●記述する用語

数字はアラビア数字が原則。但し、陸軍の兵器年式は「漢」数字。

●投稿に関するご質問
編集委員会にお問い合わせください。
電話 03-3263-0851 (偕行社事務局と同じです)